

令和3年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	公開臨湖実習 2 「追跡！巨大ナマズー湖沼の外来生物問題の最前線」		
<p><実習内容></p> <p>日本第2位の湖面積を誇る霞ヶ浦は、河口堰の設置、治水・利水のための湖岸開発、水質悪化、水辺植物帯の消失、様々な外来種の侵入などの環境問題に直面しているが、いまだに国内有数の漁獲量を維持し、高い生物多様性を有する豊かな湖である。現在、霞ヶ浦では、特定外来生物のチャネルキャットフィッシュ（アメリカナマズ）が大増殖し、生物群集や水産業、人の生活などに様々な影響をもたらしている。実習では霞ヶ浦のチャネルキャットフィッシュを主な題材とし、湖沼の外来生物問題の現状と課題について、実際にフィールドで体感しながら学ぶ。</p> <p><実習項目></p> <p>(1) 環境調査：沿岸帯での水温、透明度、溶存酸素量等の測定と水質分析 (2) 在来生物の生息状況調査：地曳網、投網、定置網等を用いた魚類採集、プランクトンネットや採泥器等を用いたプランクトンと底生動物採集、顕微鏡を用いた観察・同定・計数等 (3) 外来ナマズ生息状況調査：釣りや各種漁具による捕獲調査、生物学的特徴を調べるための解剖、耳石による年齢査定、被害実態を把握するための胃内容物解析等 (4) 実習生のアイデアによる防除手法の開発・試験と防除計画書の作成 (5) 実習の成果発表会</p>			
実習内容キーワード	外来生物、在来生物群集、生物多様性、漁業資源、湖沼環境		
担当教員氏名・所属・役職名	加納光樹（准教授）・碓井星二（助教） 茨城大学 地球・地域環境共創機構 流域圏環境部門		
協力教員氏名・所属・役職名	なし		
対象学生・学年	学部生 (院生も可)	開講期間	2021年8月9日（月）昼～ 8月11日（水）昼
開講大学・施設名	茨城大学・水圏環境フィールドステーション		
施設の住所	〒311-2402 茨城県潮来市大生 1375		
電話	0299-66-6886	F a x	0299-67-5175
e-mail	suiken@ml.ibaraki.ac.jp	Web Site	http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/
交通案内	高速バス停留所「水郷潮来（東京駅から1時間20分、片道1830円）」から路線バス（約40分、200円）もしくはJR延方駅から路線バス（約10分、200円）で「大生原公民館前」下車、そこから当フィールドステーションまで徒歩で約5分。		
費用	宿泊費（宿泊棟使用料、シーツ代）と食費で9,000円 前泊・後泊が必要な場合は別途宿泊費500円/泊		
授業科目名	陸水外来生物学実習		
単位数	1単位 (院生の場合、所属大学院での単位認定不可)	定員数	15名
授業料の徴収について	国立・公立・私立大学を問わず不徴収。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	先着順。申し込み締め切りは6月30日（水）。定員に満たない場合は追加募集を行う。申し込み状況の問い合わせはE-mailで。 <u>オンライン・対面での授業を併用予定ですが、新型コロナウイルスの影響のため、すべてオンライン開催になる可能性もあります。実習内容、日程等は、当施設ホームページにて最新情報を必ず確認してください。</u>		
選抜結果連絡法	所属大学学務へ郵送、および申し込み学生へE-mailで通知。		